

## 事前評価シート

(平成 年 月現在)

1. 課題名
2. 開発・事業期間 平成××年度～平成 年度
3. 課題概要 .....
4. 各観点からの評価
(1) 必要性 以下の例を参考に適切な評価項目を抽出し、評価基準を設定 科学的・技術的意義(独創性、革新性、先導性、発展性等)、社会的・経済的意義(産業・経済活動の活性化・高度化、国際競争力の向上、知的財産権の取得・活用、社会的価値(安全・安心で心豊かな社会等)の創出、国費を用いた研究開発としての意義(国や社会のニーズへの適合性、機関の設置目的や研究目的への適合性、国の関与の必要性・緊急性、他国の先進研究開発との比較における妥当性等)、その他国益確保への貢献、政策・施策の企画立案・実施への貢献等
(2) 有効性 以下の例を参考に適切な評価項目を抽出し、評価基準を設定 新しい知の創出への貢献、研究開発の質の向上への貢献、実用化・事業化への貢献、行政施策への貢献、人材の養成、知的基盤の整備への貢献、(見込まれる)直接の成果の内容、(見込まれる)効果や波及効果の内容等
(3) 効率性 以下の例を参考に適切な評価項目を抽出し、評価基準を設定 計画・実施体制の妥当性、目標・達成管理の向上方策の妥当性、費用構造や費用対効果向上方策の妥当性、研究開発の手段やアプローチの妥当性、施策見直し方法等の妥当性等
5. 総合評価 採択・不採択(実施の可否)の別とその理由、中間評価・事後評価の実施時期、今後研究開発を進める上での注意点など



中間評価の論点（案）

1 研究開発の体制等

- ・ 研究開発スケジュールの進捗状況はどうか。
- ・ 研究実施機関（者）の連携は十分に行われたか。
- ・ 我が国の研究開発、国際競争力の強化等に貢献するような人材育成が行われているか。

2 研究開発目標の達成度

- ・ 成果は達成目標に沿ったものか。

3 研究開発の成果

- ・ 成果内容の水準は世界的に見て優れているか。
- ・ 科学・学術への貢献度合いはどうか。
- ・ 論文等による研究発表は、質量ともに十分か。
- ・ 計画外事象の発生があるか。またそれに適切に対応したか。

4 成果の普及、広報、効果など

- ・ 研究成果の社会への還元が適切になされているか。
- ・ 広報・データ公開等は一般向けを含め十分に行われているか。
- ・ 科学技術の動向や社会的ニーズの変化に十分対応しているか。

自己点検結果報告書

..... 課題名.....

課題代表者： 大学法人××大学 (名前)

研究開発の体制等 (1) 研究開発スケジュールの進捗状況  (2) 研究実施機関(者)の連携
研究開発目標の達成度

語句解説：

??：

??とは である。

## 事後評価シート

(平成 年 月現在)

1. 課題名	……
2. 評価結果	
(1) 課題の達成状況	達成度の判定とその決定根拠を明確にする
所期の目標は達成したか 事前評価あるいは中間評価において設定された「必要性」、「有効性」、「効率性」における各評価項目について、その評価基準を満たしたか	
(2) 成果	どのような成果を得たか、その所期の目標との関係は 波及効果があったか
(3) 今後の展望	研究結果を踏まえた今後の展望、予想される効果・効用の明示

事後評価の論点（案）

1 研究開発の体制等

- ・ 研究開発スケジュールの進捗状況はどうか。
- ・ 研究実施機関（者）の連携は十分に行われたか。

2 研究開発目標の達成度

- ・ 成果は達成目標に沿ったものか。

3 研究開発の成果

- ・ 成果内容の水準は世界的に見て優れているか。
- ・ GEOSSへの貢献度合いはどうか。
- ・ 論文等による研究発表は、質量ともに十分か。
- ・ 計画外事象の発生があるか。またそれに適切に対応したか。

4 成果の普及、広報、効果など

- ・ 研究成果の社会への還元が適切になされているか。
- ・ 広報・データ公開等は一般向けを含め十分に行われているか。
- ・ 研究進展による社会・経済への波及効果、研究終了後の実用化等に向けた自立的な取り組みの方策が示されているか。